



こうちし
高知県高知市

コミュニティ部門

ジビエ

**鳥獣被害
防止**

**学生・若者の
活躍**

山口	島根	鳥取
	広島	岡山
愛媛	香川	徳島
	高知	

こうちしょうぎょうこうとうがっこう じびえしょうひんかいほつはんぱいそくしんぶ
No. 15 高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部

～ジビエを通じた循環型社会貢献活動～



初めての地域での販売



高校生ジビエ・レストラン出店

経緯

- 森林率全国1位の高知県では鳥獣被害が深刻な課題。
- H29年度にハンターである本校教諭から鳥獣被害等の話を聞いた生徒たちが課題解決に向け活動を開始。
- H30年、本格的に捕獲された個体をジビエとして利活用・商品化し、販売活動を開始した。

取組内容

- 「野生獣からみんなが大好きな商品へ」をコンセプトに開発商品第1号の子どもも食べられる「鹿肉入りカレーパン」を商品化。
- 感染症拡大により販売機会が減少する中、「ジビエの利活用を止めるわけにはいかない」と高校生ジビエレストランを出店。
- 販売利益をシカなどの食害を受けた森林保護活動に寄付するとともに植樹活動に参加。

活動の効果

- 活動を通じて生徒たちが自ら「森林保護で陸の豊かさを守り、よりよい社会形成の実現に貢献する」という明確な活動目的を発見。
- 地道な調査(Research)、商品企画(Plan)、販売(Do)、商品の感想の聞き取りと振り返り(Check)を行い、新たな商品を誕生させる結果となった(Action)。生徒たちはPDCAサイクル活用の前に、実態を踏まえた商品開発プラン作りが大切であるということに気づけた。